

「中学生・高校生のボランティア活動に関する調査」  
結果報告

平成 16 年 7 月

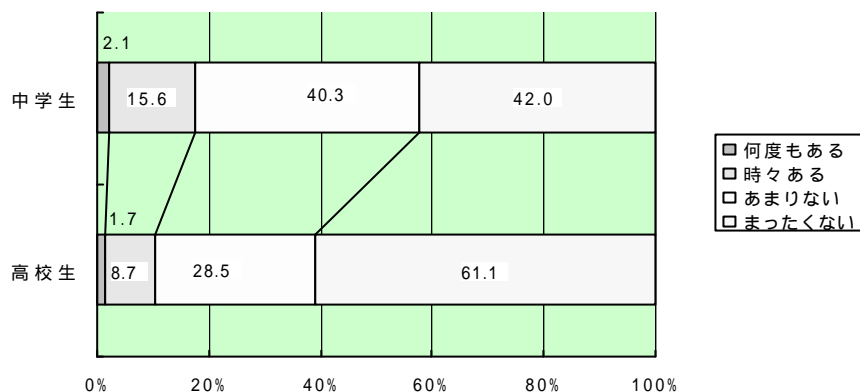
県民生活課県民活動推進室

問2 あなたのこの1年間の行動について質問します( はそれぞれ1つ)

(1) いじめを注意したこと。

何度もある 時々ある あまりない まったくない

いじめの注意

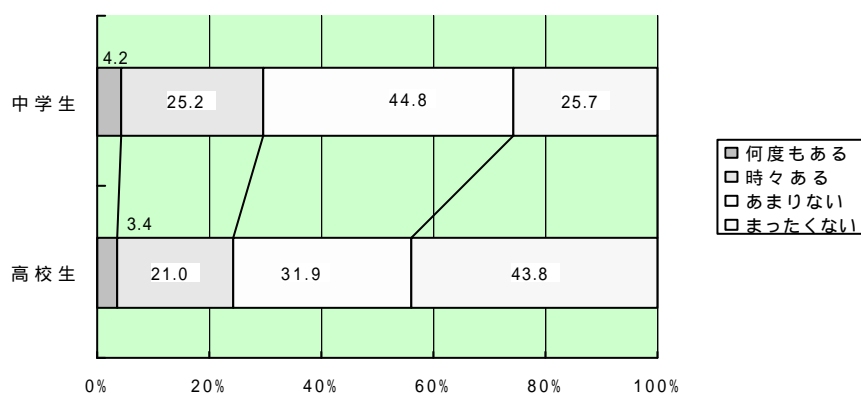


「いじめの注意」を行った割合は、「何どもある」「時々ある」をあわせると、中学生で17.7%、高校生で10.4%となっている。

(2) 友だちのけんかをやめさせたこと。

何どもある 時々ある あまりない まったくない

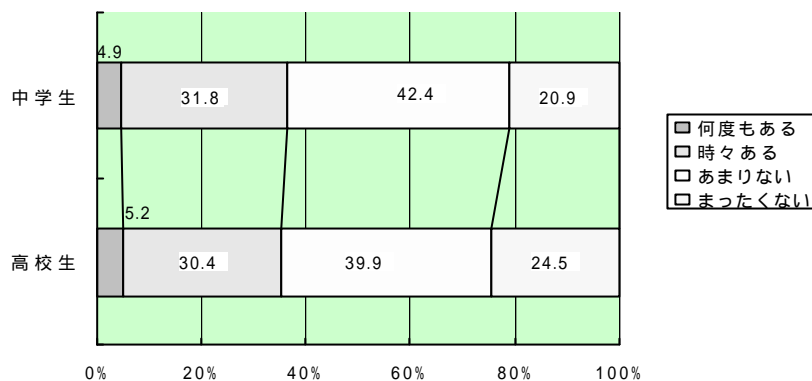
けんかの仲裁



「けんかの仲裁」を行った割合は、「何どもある」「時々ある」をあわせると、中学生で29.4%、高校生で24.4%となっている。

(3) 体の不自由な人やお年寄りの手助けをしたこと。  
 何度もある 時々ある あまりない まったくない

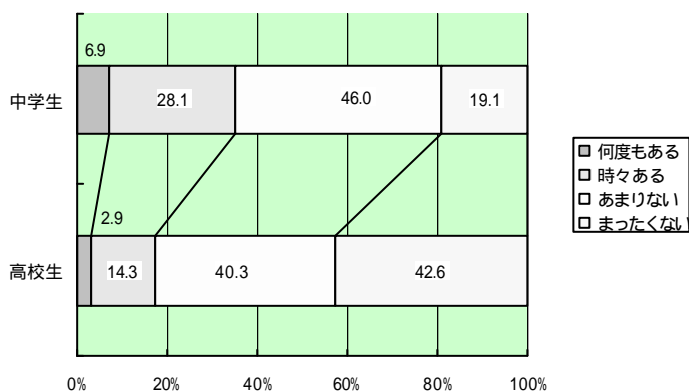
体の不自由な人などの手助け



「体の不自由な人などの手助け」を行った割合は、「何度もある」「時々ある」をあわせると、中学生で 36.7%、高校生で 35.6%となっている。

(4) 清掃活動や国際交流といった社会に役立つこと。  
 何度もある 時々ある あまりない まったくない

社会に役立つ行動

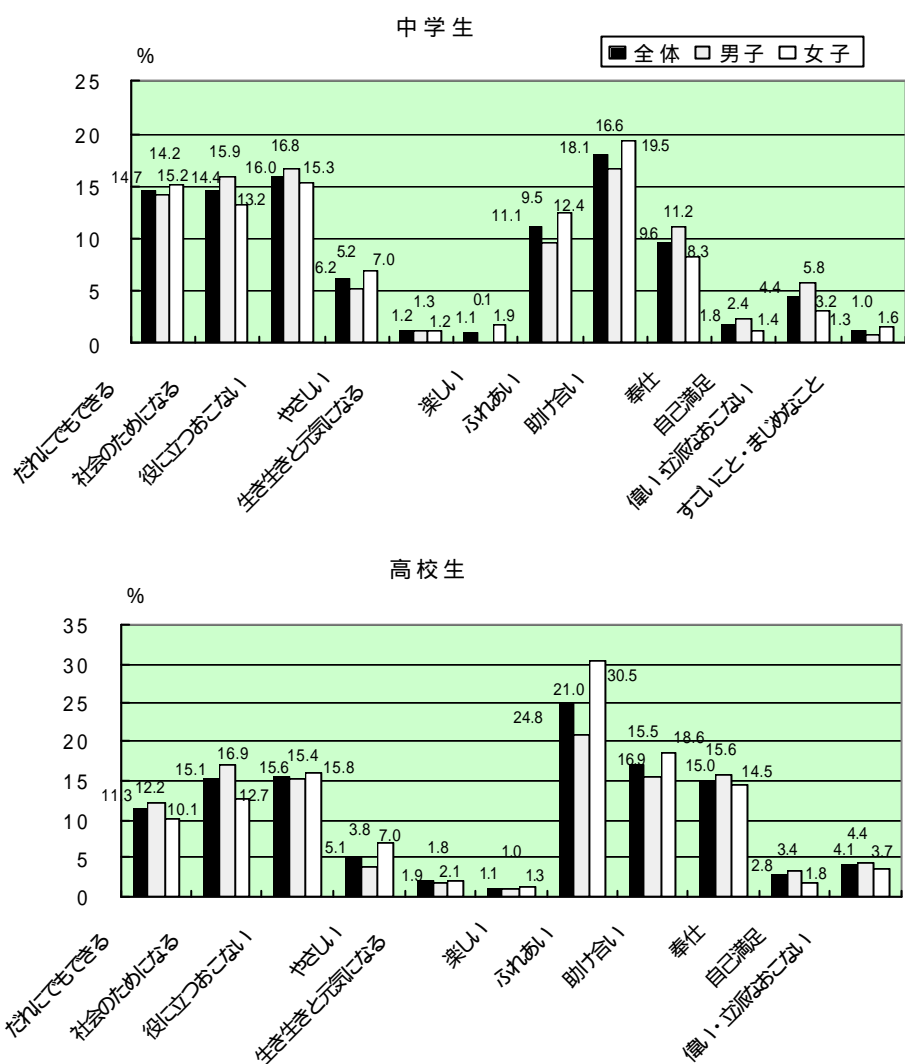


「社会に役立つこと」を行った割合は、「何度もある」「時々ある」をあわせると、中学生で 35.0%、高校生で 17.2%となっている。

問3 あなたは、ボランティア活動ということばを聞くとどのようなイメージをもちますか  
(は3つまで)

- |            |                         |
|------------|-------------------------|
| だれにでもできる   | 社会のためになる                |
| 役に立つおこない   | やさしい                    |
| 生き生きと元気になる | 楽しい                     |
| ふれあい       | 助け合い                    |
| 奉仕         | 自己満足                    |
| 偉い・立派なおこない | 自分にはできないようなすごいこと・まじめなこと |

### ボランティア活動のイメージ

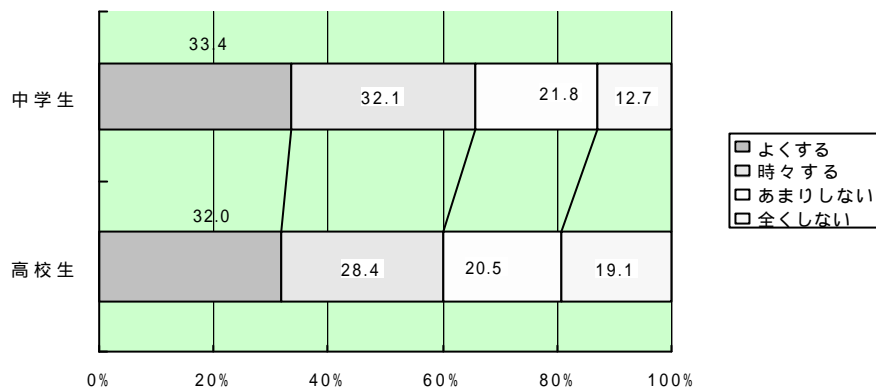


中学生では、「助け合い」の18.1%が最も高く、「役に立つおこない」、「だれにでもできる」、「社会のためになる」、「ふれあい」のイメージが10%を超えている。高校生では、「ふれあい」のイメージが24.8%で最も高く、特に女子は30%を超えている。次いで「助け合い」、「役に立つおこない」、「社会のためになる」、「奉仕」がいずれも高い割合を示している。

問4 あなたは、日常生活の中で次のようなことをどの程度しますか。  
( はそれぞれ1つ)

(1) 自分の家でテレビゲームやコンピュータゲームをする。  
よくする 時々する あまりしない まったくしない

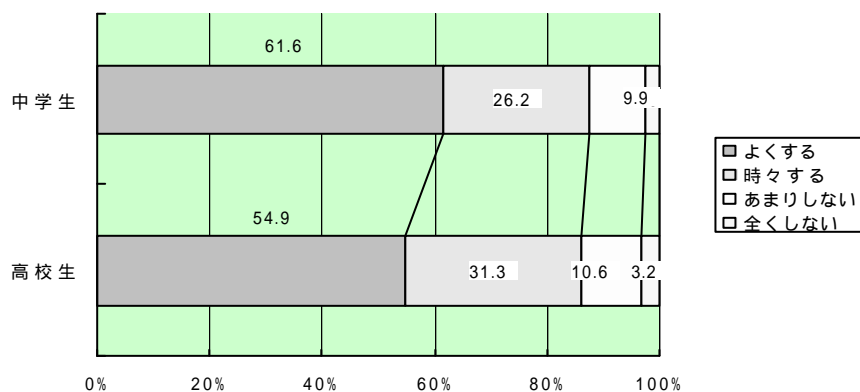
テレビゲーム・コンピュータゲーム



「テレビゲーム・コンピュータゲーム」の割合は、「よくする」、「時々する」をあわせると、中学生で65.5%、高校生で60.4%となっている。

(2) 自分の家でマンガを見たり、本を読む。  
よくする 時々する あまりしない まったくしない

マンガ・読書

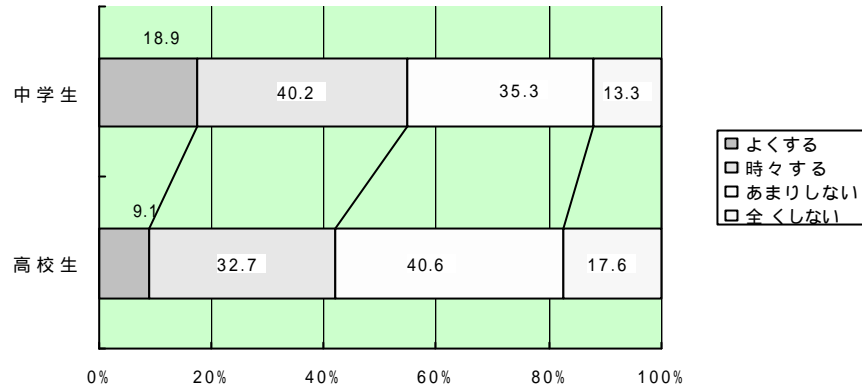


「マンガ・読書」の割合は、「よくする」、「時々する」をあわせると、中学生で87.8%、高校生で86.2%となっている。

(3) 自分の家で勉強する。

よくする 時々する あまりしない まったくしない

自宅で学習

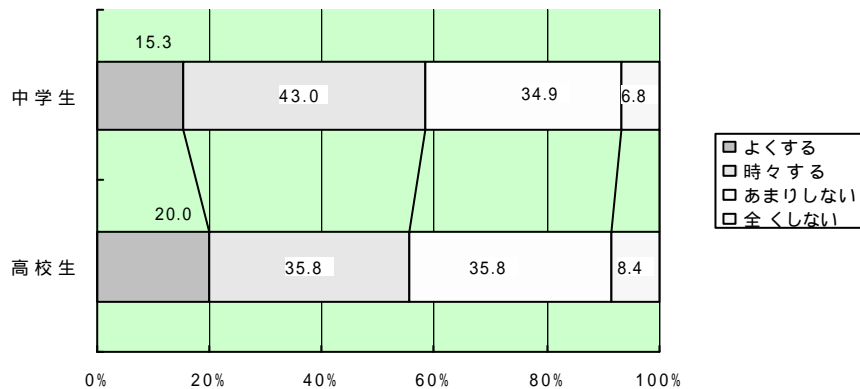


「家で勉強」の割合は、「よくする」、「時々する」をあわせると、中学生では59.1%で、高校生では41.8%となっている。

(4) 友だちや近所の人のお家に行く。

よくする 時々する あまりしない まったくしない

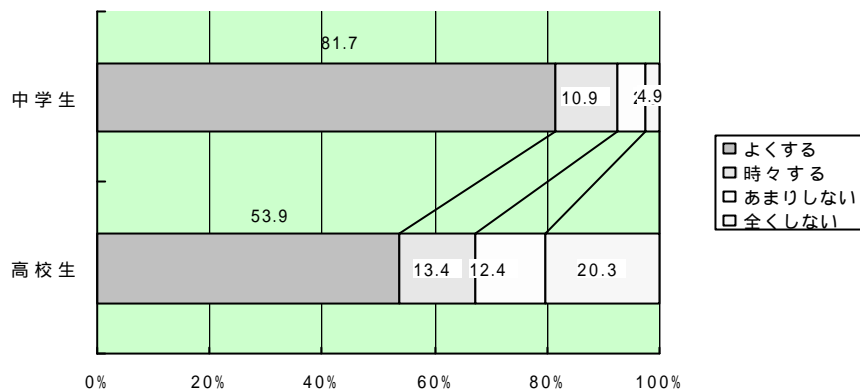
友だちの家等の訪問



「友だちの家等の訪問」の割合は、「よくする」、「時々する」をあわせると、中学生で58.3%、高校生で55.8%となっている。

(5) 学校の部活動や、習い事・スポーツクラブへ行く。  
 よくする 時々する あまりしない まったくしない

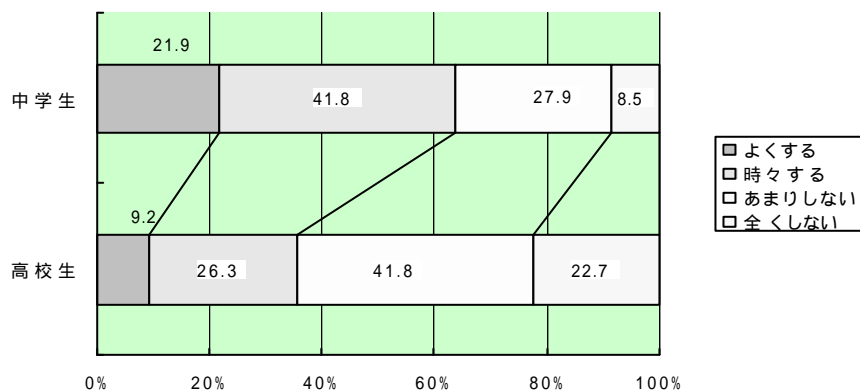
部活動・習い事等



「部活動・習い事等」の割合は、「よくする」、「時々する」をあわせると、中学生では92.6%であるのに対して、高校生では67.3%となっている。

(6) 地域のお祭りや清掃活動といった行事に参加する。  
 よくする 時々する あまりしない まったくしない

地域の行事への参加

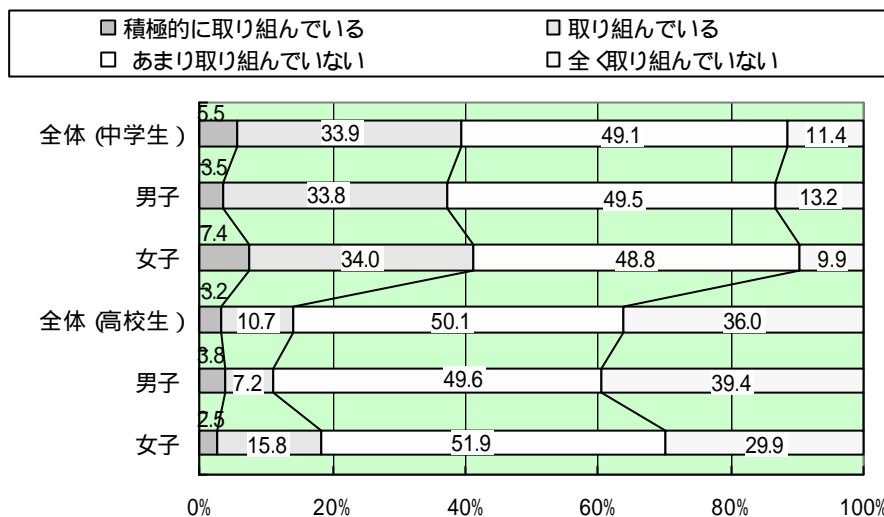


「地域の行事への参加」の割合は、「よくする」、「時々する」をあわせると、中学生では63.7%であるのに対して、高校生では35.5%となっている。

問5 あなたは、ボランティア活動にどのように取り組んでいますか（ は1つ）

- 積極的に取り組んでいる
- 取り組んでいる
- あまり取り組んでいない
- まったく取り組んでいない

ボランティア活動に取り組む姿勢



「ボランティア活動に取り組む姿勢」については、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」をあわせると、中学生では39.4%であり、高校生では13.9%となっている。また、男子より女子の方がボランティア活動に取り組む割合が高い傾向がある。

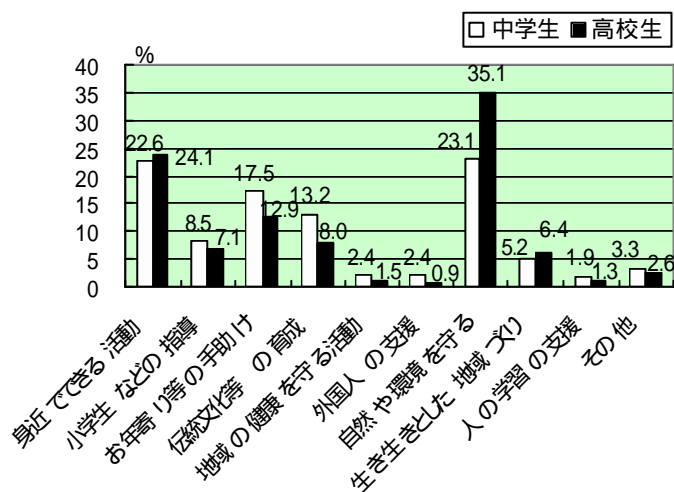


問6 問5で、「積極的に取り組んでいる」または、「取り組んでいる」と答えた人にお聞きします。

(1) あなたが、今までに取り組んだことがあるボランティア活動はどのようなものですか（はいくつでも）。

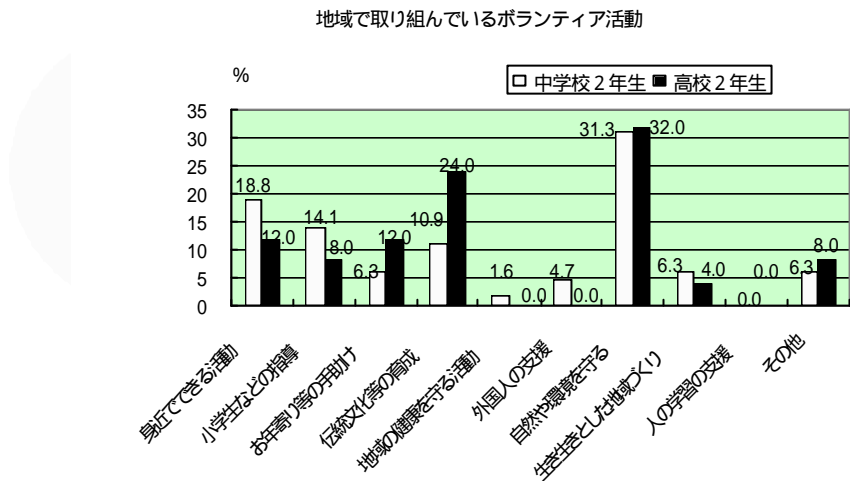
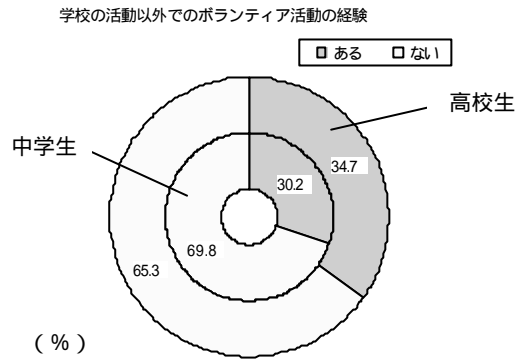
- 身近でできる活動  
（切手集め、募金活動など）
- 小学生などに、スポーツ・レクレーションなどの指導をする。  
（スポーツ・レクレーション指導、野外キャンプの活動など）
- お年寄りや障害のある人などを助ける。  
（施設訪問による介護、点訳・朗読サービスなど）
- 地域の歴史を掘りおこし、伝統文化やお祭りなどを守り育てる。  
（地域のイベントやお祭りの手伝い、地域の伝統芸能の教え合いなど）
- 病気の人の手助けをしたり、地域で健康を守る活動をしたりする。  
（病院での患者さんの話し相手、エイズなど難病克服のための活動など）
- 日本にいる外国人の世話をしたり、外国で援助活動をする。  
（ホームステイの受け入れ、援助物資を送るなどの人道援助など）
- 自然や環境を守る。  
（リサイクル活動、野生生物の保護、道路・公園の掃除など）
- 生き生きとした地域をつくる。  
（消防・防災などの活動、花いっぱい運動、まちおこしの活動など）
- 自分の知識を生かして、人々の学習を助ける。  
（博物館・美術館などの作品説明、史跡の観光説明など）
- その他の「ボランティア活動」

取り組んだ経験のあるボランティア活動



「取り組んだ経験のあるボランティア活動」については、中学生・高校生とも「自然や環境を守る」活動の割合が最も高く、中学生は23.1%、高校生は35.1%である。次いで、中学生・高校生とも「身近でできる活動」が20%台、「お年寄り等の手助け」が10%台を示している。「伝統文化等の育成」は中学生で10%を超えている。

(2) (1)であなたがあげたボランティア活動のうち、地域で（学校の行事や学習としてではなく）取り組んでいるものがありますか。あれば、その番号（～）を次の欄に記入してください。

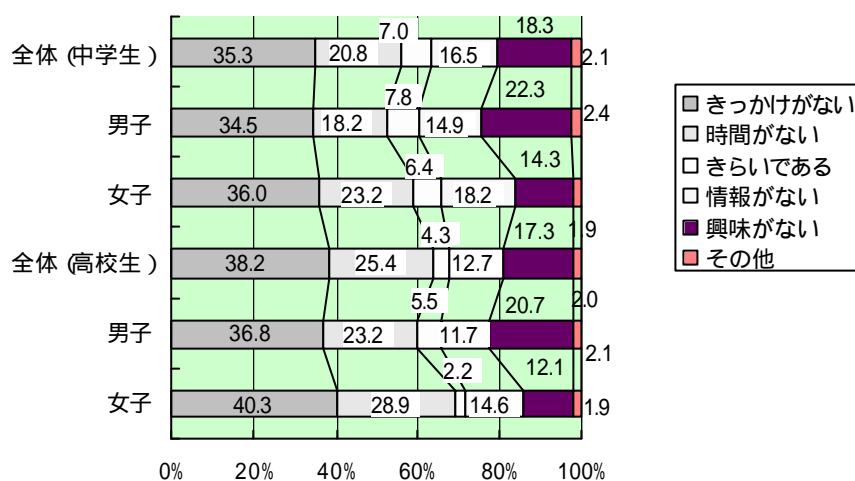


地域でのボランティア活動の経験は、中学生で30.2%、高校生では34.7%である。活動内容では、中学生、高校生とも「自然や環境を守る」活動の割合が最も高くいずれも30%を超えている。次いで、「身近でできる活動」、「伝統文化等の育成」、「小学生などの指導」、「お年寄り等の手助け」に、おおむね1～2割の生徒が取り組んでいる。

問7 問5で「あまり取り組んでいない」または、「まったく取り組んでいない」と答えた人にお聞きします。あなたはなぜボランティア活動に「あまり」または、「まったく」取り組んでいないのですか（ は2つまで）。

- きっかけがない
- 時間がない
- きらいである
- 情報がない
- 興味がない
- その他

ボランティア活動に取り組まない理由



問5で、ボランティア活動に「あまり取り組んでいない」「まったく取り組んでいない」と答えた生徒は、あわせて中学生で60.5%、高校生で86.1%である。「ボランティア活動に取り組まない理由」については、「きっかけがない」をあげた生徒が一番多く、中学生で35.3%、高校生で38.2%である。ついで、「時間がない」が中学生で20.8%、高校生が25.4%である。さらに、「興味がない」「情報がない」をあげた生徒が中学生・高校生とも10%台で、「きらい」を理由としてあげた生徒は中学生・高校生とも一桁である。

また、男子が女子に比べて高いのが「興味がない」「きらい」の割合で、女子が男子に比べて高いのが「きっかけがない」「時間がない」「情報がない」の割合である。

問8 あなたが興味のあるボランティア活動にはどんなものがありますか。[ボランティア活動に取り組んだことがない人もお答えください。] ( は3つまで)

身近でできる活動

(切手集め、募金活動など)

小学生などに、スポーツ・レクレーションなどの指導をする。

(スポーツ・レクレーション指導、野外キャンプの活動など)

お年寄りや障害のある人などを助ける。

(施設訪問による介護、点訳・朗読サービスなど)

地域の歴史を掘りおこし、伝統文化やお祭りなどを守り育てる。

(地域のイベントやお祭りの手伝い、地域の伝統芸能の教え合いなど)

病気の人の手助けをしたり、地域で健康を守る活動をしたりする。

(病院での患者さんの話し相手、エイズなど難病克服のための活動など)

日本にいる外国人の世話をしたり、外国で援助活動をする。

(ホームステイの受け入れ、援助物資を送るなどの人道援助など)

自然や環境を守る。

(リサイクル活動、野生生物の保護、道路・公園の掃除など)

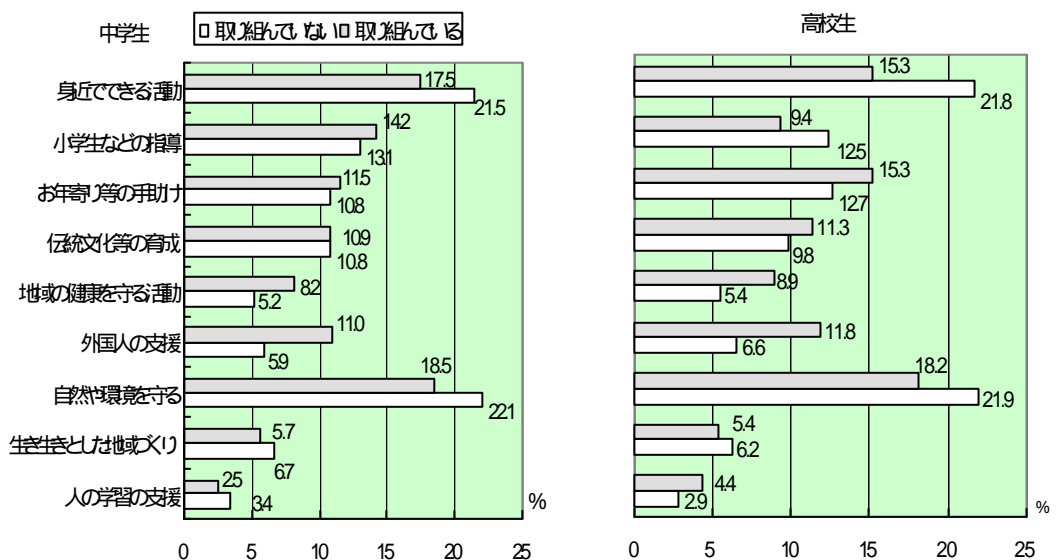
生き生きとした地域をつくる。

(消防・防災などの活動、花いっぱい運動、まちおこしの活動など)

自分の知識を生かして、人々の学習を助ける。

(博物館・美術館などの作品説明、史跡の観光説明など)

その他の「ボランティア活動」

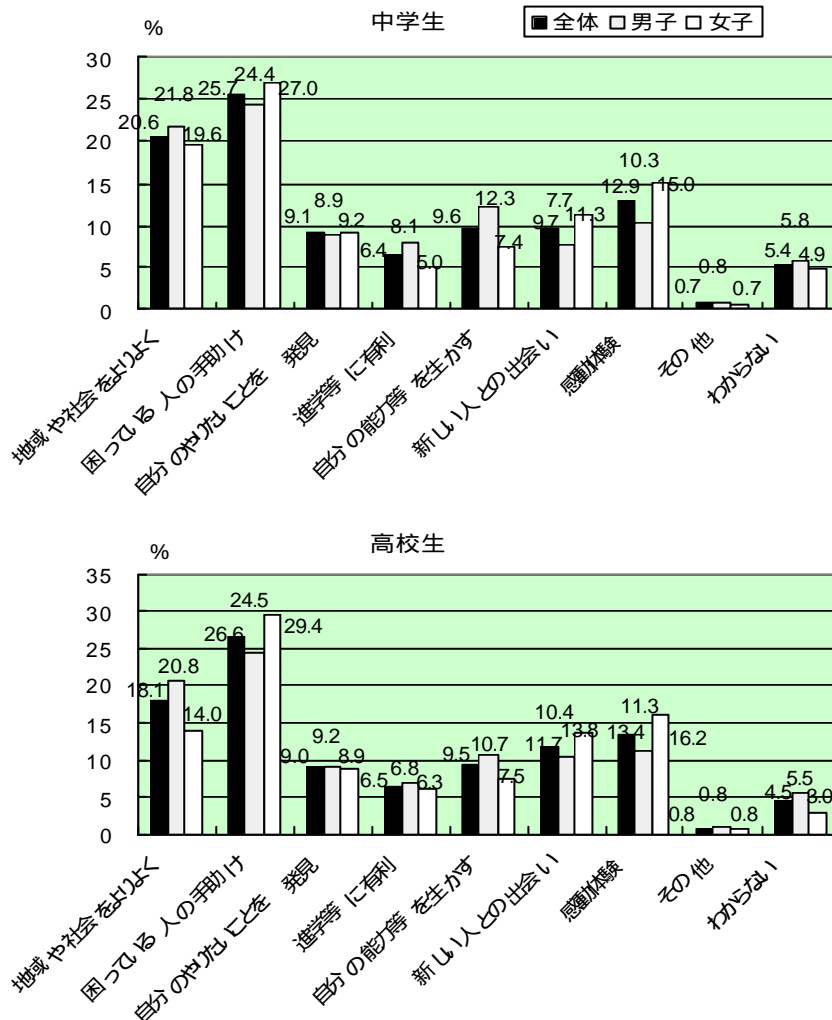


中学生、高校生に共通して、「自然や環境を守る」、「身近でできる活動」を中心として興味をもっているが、「取り組んでいる」生徒は、そうでない生徒に比べて「地域の健康を守る活動(病院ボランティア等)」、「外国人の支援」にも比較的高い興味がある。

問9 あなたがボランティア活動をするのは、どのような気持ちからですか。[ボランティア活動に取り組んだことがない人は、あなたがもしボランティア活動をするのであれば、どのような気持ちからですか。]（ は3つまで）

- 地域や社会をよりよくしたい。
- 困っている人の手助けをしたい。
- 自分が今、または将来やりたいことを発見したい。
- 進学、就職などで有利になるようにしたい。
- 自分の能力、技術、経験を生かしたい。
- 新しい人と出会いたい。
- 何か新しく感動できる体験をしたい。
- その他
- わからない。

ボランティア活動に取り組む気持ち

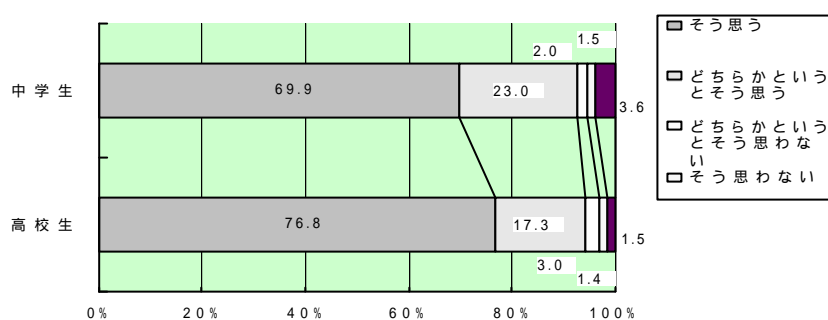


中学生、高校生とも「困っている人の手助け」の割合が最も高く、中学生は25.7%、高校生は26.6%である。次いで「地域や社会をよりよく」、「感動体験」の順となっている。中学生、高校生に共通して、男子が女子に比べて高い割合となるのが「地域や社会をよりよく」、「進学等に有利」、「自分の能力等を生かす」等で、逆に女子が高いのが「感動体験」、「困っている人の手助け」、「新しい人との出会い」である。

問 10 あなたは、将来どのような人間になりたいですか（ はそれぞれ1つ）。

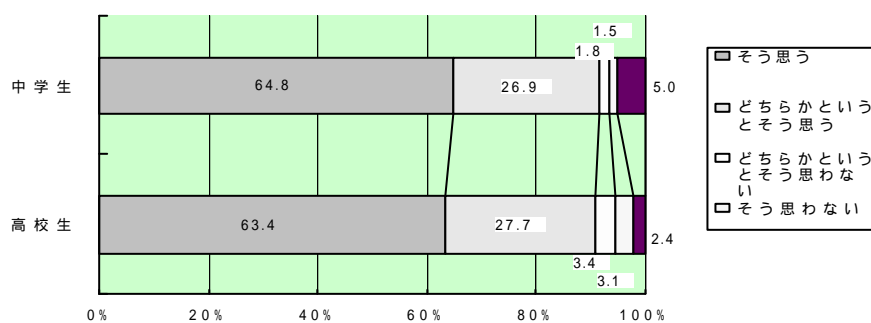
- (1) 人の気持ちがわかる人間になりたい。  
 そう思う  
 どちらかというと思う  
 どちらかというと思わない  
 そう思わない  
 わからない

人の気持ちのわかる人間



- (2) 人の役に立つ人間になりたい。  
 そう思う  
 どちらかというと思う  
 どちらかというと思わない  
 そう思わない  
 わからない

人の役に立つ人間



将来「人の気持ちのわかる人間」になりたい生徒の割合は、「そう思う」、「どちらかというと思う」をあわせると、中学生で92.9%、高校生で94.1%となっている。

また、「人の役に立つ人間」になりたい生徒の割合は、「そう思う」、「どちらかというと思う」をあわせると、中学生で91.7%、高校生で91.1%となっている。